

データの保存場所について

1 ドキュメントの利用について

保存の際の注意点

2 USB 機器について

3 USB 機器の使用方法

USB ポートに USB メモリを接続する

USB ポートから機器を取り出す

4 USB 利用上の注意点

1 ドキュメントの利用について

学内ネットワーク(PC)を利用し、データを保存すると、利用者それぞれの「ドキュメント」に保存されます。

データはPCではなく、ネットワークを介してファイルサーバに保存されるため、本学のどこのコンピュータを使っても利用者自身のドキュメントが見えるようになります。

ドキュメントは ID 別に付与されていますので、他人が見ることも削除することもできません。ファイルを保存するときは以下の場所に保存してください。[PC]→[ドキュメント]
ただし、ファイルサーバでご利用いただけるファイルのサイズは 1 人当たり 50MB に制限されています。

もし上記以外の場所にファイルを保存した場合、(デスクトップ等)PC の電源を切ると消えてしまいます。

保存の際の注意点

一人当たりの保存量は 50MB です。容量を超えないように注意してください。

また、サーバは障害に備えた管理がされていますが、データ喪失の可能性は「極めて低い」ということであり、100%絶対大丈夫というものではありません。重要なデータは、USB メモリにも保存するなど、日頃から自身でのバックアップも行っておきましょう。

2 USB 機器について

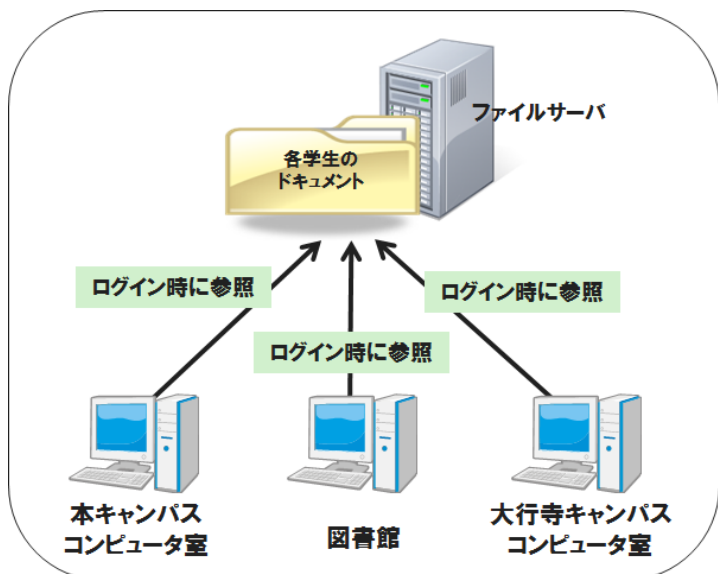
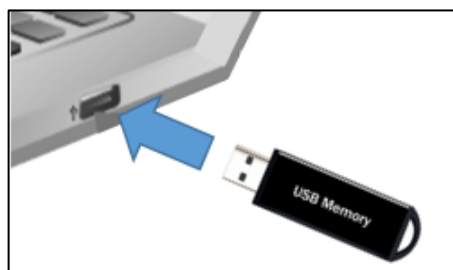
USB は簡単な操作で大容量のデータを外部記憶メディアに保存できたり、様々な種類のリムーバブルディスクを読み込んだりすることができます。(USB=Universal Serial Bus の略:パソコンと周辺機器を結ぶデータ転送路の規格の 1 つ)

ここでは、USB 媒体の使用の方法を説明します。(USB が接続できる機器であればほぼ同様の操作で使用できます)

3 USB 機器の使用方法

USB ポートに USB メモリを接続する

- ① コンピュータの USB ポートに USB メモリを接続します。



- ② USBメモリを学内パソコンで使用する際は、接続後、自動再生フォルダを開く前に、必ずセキュリティソフトでウイルスチェックを行ってください。

スキャンの手順

- (1) USBを差し込む
- (2) コンピューター→USB機器名を右クリック
- (3) スキャンの項目をクリック

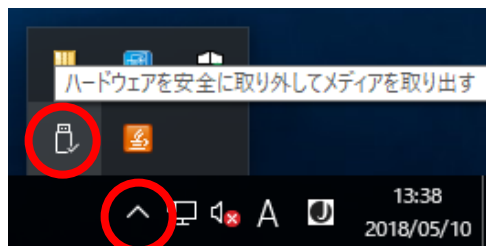
- ③ スキャンが終わったら、以下のような自動再生画面のフォルダをクリックするか(あるいはコンピューター→該当ドライブをダブルクリック)でUSBの中身が表示されます。



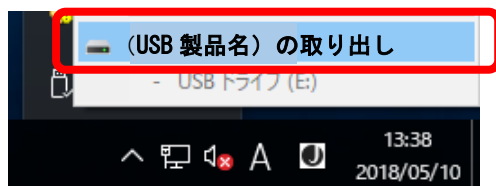
USBポートから機器を取り出す

・USBメモリの使用終了時は、すぐにUSBメモリをUSBポートから抜いてしまうと、USBメモリの故障やデータ破損の原因になりますので、次の手順に従ってUSBメモリを停止させてから抜くようにしましょう。

- ① すべてのファイルを閉じ、タスクバー右側付近のAアイコンをクリックし、USBのアイコンをクリック。



- ② (USB製品名)取り出しをクリック



- ③ USBのアイコンが消えたのを確認してから、USBメモリをUSBポートから抜いてください。

4 USB 利用上の注意点

- 自宅パソコンなど外部で使ったUSBメモリを学内パソコンで使用する際は必ず、セキュリティソフトでウイルスチェックを行ってください。
- セキュリティソフトにてウイルス感染が発見された場合は、速やかに駆除作業を行ってください。
- 外部での感染が疑われる場合は外部のパソコンも駆除を行う必要があります。
- 持ち込んだUSBメモリについての不具合は利用者個々の責任で解決してください。
- ドライバインストールが必要なUSB機器に関しては、利用できないこともあります。
- 保存データの情報漏洩などの危険がありますので、USBメモリを学内PCに差したままの離席・抜き忘れ・紛失等には十分に注意してください。